

## 東海・北陸地区国立高専教員研究集会を開催 = 岐阜高専

9月17日(金), 国立高専機構主催による平成22年度東海・北陸地区国立高専教員研究集会が, 岐阜高専を世話校として, 東海・北陸地区の8高専から34名の教員が参加し, 岐阜市内で開催された。

今回は, 「教員交流制度の意義と展望」をテーマとして, 平成18年度から実施されている高専(平成20年度からは高専・両技科大)間教員交流制度について, その意義を総括し, 交流制度の今後のあり方を展望することを目的として開催された。

研究集会では, 岐阜高専の榊原校長による開会挨拶の後, 各高専から教員交流経験者による事例報告があり, 次いで, これらの事例を基に交流制度の改善点や, 復帰後の交流経験の活用方法等について活発な意見交換が行われた。



開会挨拶をする榊原校長